

- 問1 「持続可能な社会」の定義として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. 経済発展を最優先事項とし、科学技術の力で環境問題を解決しながら現代の豊かな生活のみを追求する社会
 2. 将来の世代に資源を残すことを最優先し、現代の経済活動や生活水準を大幅に制限して環境保護に努める社会
 3. 将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現代の世代が快適な生活を送り、生活の質を向上させていく社会
 4. 発展途上国の開発を停止させ、先進国が現在の生活水準を維持するために必要な資源を優先的に確保し続ける社会
- 問2 地球温暖化への対策として期待されているバイオ燃料の普及が、なぜ現代社会における「食料問題」を悪化させる要因となっているのですか。その経済的な仕組みを説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. バイオ燃料の生産には大量の化学肥料が必要であり、その肥料代が穀物の生産コストに転嫁され、価格が上昇するため。
 2. エネルギー分野での穀物需要が高まったことで、食料市場に回る供給量が相対的に不足し、価格が高騰するため。
 3. バイオ燃料の普及によって石油価格が暴落し、その影響で農機の燃料代が安くなった結果、農家が穀物生産を止めてしまったため。
 4. 先進国がバイオ燃料の輸出を独占したことで、途上国における食料自給率が向上し、国際市場での取引価格が乱高下したため。
- 問3 現代の公民的分野において、製品の修理やリサイクルといった活動を通じて持続可能な社会の形成を目指す背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 地球上の天然資源には限りがあり、環境への負荷を減らしながら将来の世代に資源を引き継ぐ必要があるため。
 2. すべての製品を使い捨てにすることで、企業の生産活動を最大限に活性化させ、景気を回復させる必要があるため。
 3. 環境保護のためにあらゆる工業製品の製造を禁止し、自然界の資源のみを消費する自給自足の生活に戻るため。
 4. ゴミの焼却施設を増設し、すべての廃棄物を灰にすることで、最終処分場の不足問題を物理的に解消するため。
- 問4 地球環境への負荷を軽減するための取り組みとして、日本の防衛省において、従来の航空燃料に混合して航空機に使用されるなどの活用が進められている資源は何か。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. バイオマス
 2. ウラン
 3. 液化天然ガス
 4. 石炭
- 問5 資源の有効活用の観点から、キャッサバのように「すべての部分を余すことなく活用」し、廃棄物を抑制しながら資源を循環させることで、環境への負荷を減らそうとする社会のあり方を何と呼びますか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 格差社会
 2. 情報化社会
 3. 循環型社会
 4. 管理社会
- 問6 1993年に制定された「環境基本法」は、それまでの「公害対策基本法」を引き継ぎつつも、その対象を大きく広げました。この法律が制定された背景として最も適切な説明はどれか、次の記述から選びなさい。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
1. 地球温暖化や酸性雨、ゴミ問題などの地球規模の環境問題や、日常生活に起因する環境負荷への対応が求められるようになったから。
 2. 四大公害病などの地域的な産業公害が解決したため、経済成長を最優先する方針に転換する必要があったから。
 3. 公害対策の権限をすべて中央省庁に集中させ、地方公共団体の独自の条例制定を禁止するため。
 4. 環境庁が環境省へと昇格したことに伴い、自然保護よりも産業界の利益を保護する仕組みを作る必要があったから。
- 問7 特定のラベルが貼られた商品を選択して購入することは、現代の消費者にとってどのような国際的な役割を果たすことになるかと説明されますか。その目的として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 開発途上国の生産者の生活を支え、自立を促す役割
 2. 国内の産業を保護するために、外国製品の流入を制限する役割
 3. 大量生産・大量消費を促進し、世界経済の成長を加速させる役割
 4. 生産コストを徹底的に抑え、最も安価な製品を追求する役割
- 問8 日本の貨物輸送の現状として、輸送量の9割以上を自動車が占めているというデータがあります。現在、地球温暖化対策の観点から「モーダルシフト」が推進されていますが、その具体的な内容と目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 輸送コストを削減するため、貨物輸送を船舶から航空機へ切り替える。
 2. 渋滞を緩和するため、都市部の貨物輸送をすべて小型の電気自動車へ切り替える。
 3. 二酸化炭素排出量を減らすため、貨物輸送をトラックから鉄道や船舶へ切り替える。
 4. 労働力不足を解消するため、鉄道輸送を廃止して自動運転トラックへ切り替える。
- 問9 3Rの具体的な行動を示した資料において、「買い物をする際にレジ袋を利用せず、持参したマイバッグを使う」という行動が例示されていることがあります。このような、廃棄物となるものの使用を控える取り組みとして、最も適切な名称を選びなさい。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 汚染物質を適切に処理して自然に返す「クリーンアップ」
 2. 使用済みの製品をそのままの形で繰り返し使う「リユース」
 3. 廃棄物を原材料として再び利用する「リサイクル」
 4. ゴミの発生そのものを抑制する「リデュース」
- 問10 循環型社会の形成に向けた取り組みとして、多くの自治体では「生ごみ3キリ運動」が推進されています。この運動が指し示す「使いきり」「食べきり」「水きり」の具体的な内容として正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
1. ノートの余白をすべて使いきり、給食を残さず食べきり、使用済みの油を固めて燃えるごみとして出さきり。
 2. 洗剤を適量まで使いきり、賞味期限内の食品をすべて食べきり、プラスチック容器を洗って水分を拭ききり。
 3. 食材を計画的に購入して料理に使いきり、作った料理を残さず食べきり、ごみとして出す前に水分を絞りきり。
 4. 不要な製品を最後まで使いきり、備蓄した食料を定期的に食べきり、雨水を貯めて生活用水に使いきり。
- 問11 循環型社会を構築するための「3R」の取り組みにおいて、環境への負荷を減らす観点から最も優先されるべき行動とその理由の組み合わせとして、最も適当なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
1. 再使用（リユース）が最も優先される。一度使ったものをそのまま捨てることで、ごみ処理場での焼却効率が高まるから。
 2. 再生利用（リサイクル）が最も優先される。使った製品を工場加工し直すことが、最もエネルギーを使わずに環境を守る方法であるから。
 3. 発生抑制（リデュース）が最も優先される。そもそもごみを発生させないことが、処理や再利用にかかるエネルギーを削減するために最も効果的であるから。
 4. 発生抑制（リデュース）が最も優先される。ごみを大量に発生させてから一括で集めて処理する方が、分別コストを大幅に削げるから。
- 問12 地球温暖化対策として、なぜ「公共交通機関の利用」や「再生可能エネルギーへの転換」が強く求められているのでしょうか。その理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 化石燃料の使用によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスを削減し、気温上昇を抑えるため
 2. 大都市圏への人口集中を防ぎ、地方の公共交通インフラを維持・存続させるため
 3. 酸性雨の原因となる硫黄酸化物の排出をゼロにすることで、森林の立ち枯れを直接的に防ぐため
 4. 海洋プラスチックごみによる生態系への影響を最小限に抑え、水質汚染を防止するため